

杏林 CCRCフォーラム 公開講演会

みんなで支える がん医療

2019年2月23日(土) 10:30~11:45 開場:10:00

杏林大学 井の頭キャンパス E棟 104 定員:180名

※公共交通機関でお越し下さい



「モルヒネ使ったらおしまいってホント?!」

演者:北村 浩 (佼成病院緩和ケア科 病棟医長)

麻薬って怖い薬? ホスピスってどんなところ? 入ったら最後なの?

がんや心不全の終末期に用いられている医療用麻薬(モルヒネ)、世間一般では「中毒」「麻薬」という言葉を連想する方も少なくないでしょう。また、モルヒネを使用すること＝「痛みを感じないように眠らせてしまう」と思っている方も多いかも知れません。

- ◆ 心と体の痛みを和らげる緩和医療について
- ◆ モルヒネなどの麻薬系のお薬のメリット、デメリットについてご紹介します。



「超高齢社会とがん、杏林CCRC研究所の取り組み」

演者:長島 文夫 (杏林大学医学部内科学腫瘍科 教授)

(杏林CCRC研究所 所長)

主催:杏林CCRC研究所 (地域交流推進室)

お問い合わせ:杏林大学 地域交流課

☎:0422-47-8052

参加申込・入場料不要:直接会場へお越しください

演者紹介・北村 浩

略歴

杏林大学腫瘍内科を経て、
現在、立正佼成会附属佼成病院の緩和ケア科・
病棟医長として勤務。

一方で、抗加齢医学会専門医でもあり、
アンチエイジングをより一歩進めた
「グッドエイジング」を実践中。

演者紹介・長島 文夫

杏林大学医学部内科学腫瘍科 教授
杏林CCRC研究所 所長

杏林CCRC研究所では超高齢社会における医療と
社会の全体最適を目指して、健康寿命延伸、災害
に備える街づくり、生き甲斐創出をテーマに活動
を行っています。高齢者のがん診療の現状につい
て説明し、杏林大学における最新の取り組みにつ
いて紹介します。

Access

三鷹駅南口 バス約20分
吉祥寺駅南口 バス約20分
仙川駅 バス約15分
調布駅北口 バス約25分

